70周年記念で植樹イベント

バルブ工業会

愛知の公園に「バルブの森」

一般社団法人日本バルブ工業会の若手・次期経営者部会である清流会（会長・前田崇統前田バルブ工業㈱副社長）はこのほど、愛知県長久手市の愛・地球博記念公園（モリコロパーク）で同工業会70周年社会貢献事業の植樹イベントを行った。脱炭素化を目指し緑化・植樹を狙いとした寄付を行い、同公園内に植樹林「バルブの森」を構築していく。

同工業会は今年設立70周年を迎え6月には都内で記念式典を挙行している。今回のイベントは70周年を記念して企画したもので、清流会が窓口となり毎年寄付事業を実施していくことを決定した。

年間の事業規模は目的を明確にした計画的寄付50万円と、災害支援を狙いとした緊急的寄付32万円の計82万円で継続していく。計画的寄付の内容を清流会で検討した結果、脱炭素化貢献のための事業に定め愛知県が運営する同公園内に植樹を行っていくこととした。

年間5本程度、ピンクのハナミズキを植樹していき3年後をめどに「バルブの森」と名付けた植樹林を形成していく。周辺は子どもが集まるテーマパークが多く、「バルブの森」で同工業会の認知度向上やSDGs（持続可能な開発目標）への貢献を幅広い世代にアピールしていく考えだ。